

「ふくい COC+」 ふくいブランド創出ワーキンググループ
 成果発表会・記念フォーラム 開催趣意書

主 旨 文部科学省補助金事業「ふくい COC+」は、2015年度から2019年度の5年間、福井県内の四年制大学が連携体制を組んで様々な活動を展開してきましたが、いよいよ最終段階を迎えました。福井工業大学デザイン学科が幹事校を務めてきた「ふくいブランド創出ワーキンググループ」では、福井の地域資源のブランド価値を高めることを目的に活動を進め、これまでの成果をまとめた報告書『だから、福井で暮らしたい。』を2019年2月に刊行しました。今回は、福井大学による成果を含めたワーキンググループとしての成果発表を行うとともに、福井の地域資源について卓識ある専門家たちと一緒に、今後の活動の可能性や大学の役割などを議論するフォーラムを開催します。できるだけ活発に質疑応答や議論ができるよう少人数形式で開催します。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。

主 催 ふくいブランド創出ワーキンググループ（幹事校：福井工業大学環境情報学部デザイン学科）

共 催 ふくい COC+ 事業推進協議会

開 催 日 2019年12月14日（土）開場13時30分（パネル展示13時30分ー16時40分）

会 場 AOSSA 7階 F スクエア（福井市手寄1丁目4-1） 入場無料 事前申込不要

プログラム テーマ「福井の地域資源を活かしたブランディング活動の可能性」

14:00ー14:05 趣旨説明

14:05ー14:30 「ふくいブランド創出 WG」 成果報告

14:30ー15:30 「地域資源を活かすブランディング活動の現場から」

新山 直広氏（デザインディレクター／TSUGI 代表）

三田村 敦氏（デザイナー／GOOD MORNING 代表）

山口 祐弘氏（越前箆笥職人／ファニチャーホリック 代表）

15:30ー15:40 休憩

15:40ー16:30 「福井の地域資源の活用と大学の可能性」

パネリスト 新山直広氏、三田村敦氏、山口祐弘氏

モデレータ 川島洋一（WG 長／福井工業大学デザイン学科教授）

16:30ー16:35 総括

末 信一朗氏（ふくい COC+ 事業責任者／福井大学理事・副学長）

講師紹介

新山 直広氏 大阪府生まれ。京都精華大学芸術学部在学中より河和田アートキャンプに参加し、卒業後、鯖江市に移住。鯖江市役所を経てTSUGIを設立。地域に寄り添うインタウンデザイナーとしてブランディング活動を展開。また、自社ブランド「Sur」をはじめ、福井のものづくりとデザインを体感できる小さな複合施設「TOURISTORE」、産業観光イベント「RENEW」の運営を手掛けている。グッドデザイン賞など受賞多数。

三田村 敦氏 福井市生まれ。京都工芸繊維大学工芸学部卒業後、2005年東京の(株)ブラビス・インターナショナルに入社。2009年「KIRIN 潤る茶」のパッケージデザインがPentawards BRONZE AWARDを受賞。2012年福井で真田悦子氏とGOOD MORNINGを設立。2015年「d museum NIPPON」47人のグラフィックデザイナーに選出される。グッドデザイン賞など受賞多数。2014年より福井工業大学デザイン学科非常勤講師。

山口 祐弘氏 越前市生まれ。近畿大学生物理工学部を卒業後、香川県高松市の建設機械メーカー(株)タダノに入社。設計開発を担当。2005年長野県立上松技術専門校に入学し木工を学んだ後、香川県高松市の特注家具メーカー(有)シティングに入社。2010年越前市に戻り、越前指物工芸で修行し伝統技法を習得。2012年ファニチャーホリック設立。2016年LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 福井県代表。「注目の匠」に選出される。

お 問 合 せ 福井工業大学デザイン学科 川島洋一 tel. 0776-29-2467 E-mail : kws@fukui-ut.ac.jp